

ふるさと歴史散歩

〔第55回〕

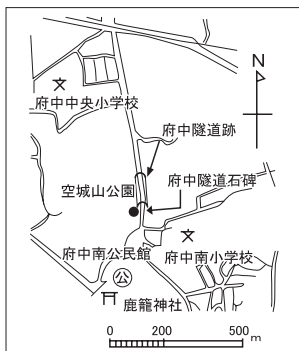
府中
隧ずい道どう

府中隧道（隧道Ⅱトンネル）

を覚えていた人も多いと思われる。現在の空城山公園（府中町浜田二丁目）の入口から鶴崎公園（鹿籠二丁目）の方へ隧道があった。今回と次回に分けてこの府中隧道について書いていく。

現在は都市計画街路青崎池尻線の一部として片側1車線の街路（写真①）になっているため、ここに隧道があったようには見えないが、古い資料などからその当時の写真を見ることができた。（写真②）

隧道のあった場所、つまり現在の空城山公園と広島青少年文化センターの間は山の尾根部分としてつながっており、隧道ができるまではこの付近に住む人はこの尾根を超える山道を歩いていた。この部分に隧道が建設



写真②隧道（北口）昭和59年撮影



写真①隧道があった場所（浜田2丁目付近）

された経緯というのは次のとおりである。昭和26年（1951年）、当時人里離れた上縄（現在の浜田）に町営火葬場が建設された。この建設に伴って旧山陽道から火葬場へ行く道路と南部の鹿籠に通じる道路が不可欠となり、この道路の一部であつ

た隧道が掘られることとなった。隧道は幅4メートル、高さ5メートル、総延長50メートルであった。当時で1,239万円という大工事であった。工事は南側（鹿籠側）から掘られ、現在のように機械がなかったのです。ハシやスコップを使っての手作業で、時折発破をかけて土砂をトロロッコで運び出していた。（写真③、④）昭和31年（1956年）に開通したが、尾根を越える山道を歩かなくてもよい

ため、隧道が出来てからはとても便利になったといわれている。

府中町文化財保護審議会委員

熊野 俊浩



写真③④工事風景（鹿籠側から撮影）



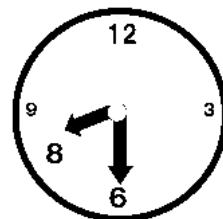
正しいごみ出しにご協力を

府中町清掃事務所 ☎ 286-3266



●午前8時30分までに！

ごみは、必ず収集日の午前8時30分までに、決められたものを正しく分けて決められた場所に出してください。収集日の前日や深夜にごみを出すことはやめてください。



●正しく出しましょう！

収集日や分別方法については、「平成20年度版家庭ごみの正しい出し方・ごみの収集案内」をよく読んで、間違わないようにごみを出してください。

